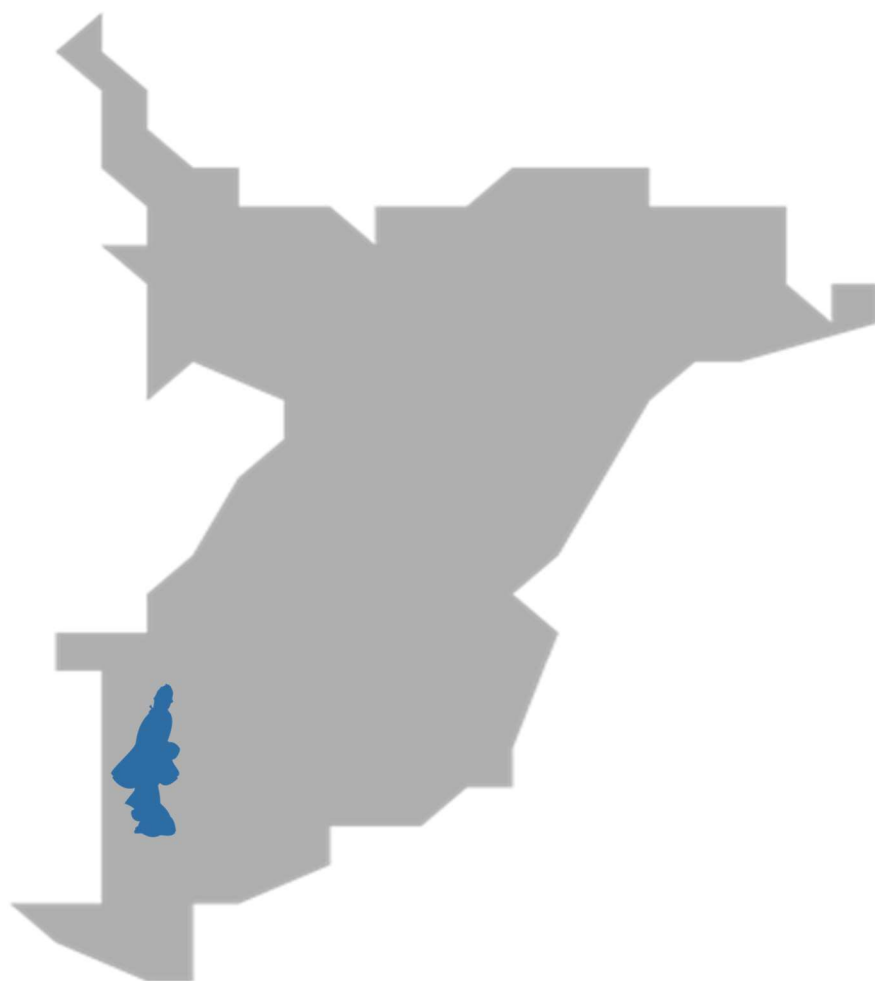


鋸南町総合計画策定懇話会



提言書



令和2年9月



鋸南町・住民の声



●鋸南町総合計画の策定に当たり、各界各層の有識者9名と一般公募の2名が委員となって令和2年3月から8月にかけて、全7回の鋸南町総合計画策定懇話会（以下『懇話会』）が開催されました。この懇話会では「住みたくなる、住み続けたくなる鋸南町を目指して」をテーマとし、「しがらみやマンパワー等は考慮しない」「実現可能か、不可能か結論を出さず、自由な意見出しをする」等のルールを設けたうえで、ワークショップ形式で話し合いを行いました。

また、懇話会では第1回から第6回まで毎回異なった小テーマを設け、町の様々な課題について幅広く話し合いました。これらに加え、鋸南中学校の生徒による懇話会を開催し、生徒たちも町のために様々な提言をしてくれました。本提言書では、これらの全ての概要を掲載しています。

鋸南町では現在も人口減少が進んでおり、それに付随する様々な問題も生じています。さらに、昨年は台風15号による被害がもたらされました。こうした事実を受け止めながら、自身の生活実感に基づき、様々な提言を行いました。どれも皆さんが真剣に考えた、この町の宝物です。

本来、町民の提言がそのまま実現されることが、一番望ましいと思われま。しかし、直接町民の皆さんの要望を満たしていくことは、人材、財政的な制約もあり、困難であると考えられます。こうした状況において重要なことは、役所と町民が問題を共有し、その解決法を模索し、共に試行錯誤していく場を構築していくことにほかなりません。

本提言書が鋸南町の輝かしい未来を作り出していくための一助となれば幸いです。



画像：6月26日開催、中学生ワークショップより。

目次

| | | |
|---|-----------------------|----|
| 1 | 鋸南町の現状と課題 | 1 |
| 2 | 地域産業 | 2 |
| 3 | 福祉・医療 | 3 |
| 4 | 教育・文化 | 5 |
| 5 | 防災・防犯・交通・生活環境 | 7 |
| 6 | 人口減少対策として優先的に取り組むべきこと | 8 |
| 7 | 中学生ワークショップからの提言 | 10 |
| 8 | 鋸南町総合計画策定懇話会 委員名簿 | 13 |



1 鋸南町の現状と課題

鋸南町の現状に関して、海などの自然環境を中心とした観光資源の多さ、東京へのアクセスの良さ等の強みが挙げられた。一方で課題として、人口の減少、PRが苦手であること（特にSNSの活用）等が挙げられた。具体的な提言としては、鋸山を中心とした観光地化の推進、田舎と都会にまたがる新しいライフスタイルの提案等が述べられた。

●町の強みと弱み

鋸南町の現状に関して、町民から以下の強みと弱みが挙げられた。

表1 鋸南町の現状における強みと弱み

| good 強み | bad 弱み |
|--|--|
| 鋸山がある、観光資源が多い、夕日がきれい、砂浜が5か所もある、気候が良い、使える土地がいっぱいある、地価が安い、個性のあるカフェや飲食店がたくさんある、バーベキューができる場所がある、ジビエ、地ビール、こちんまりとしているが、商店が密集していて高齢者も使いやすい、海の幸が旨い、コワーケーションが始まった、新鮮な魚介類（海産物）がたくさんある漁業が盛ん、漁協の店があり美味しくて有名、自然豊かな所、海山があり海岸がきれい、東京へのアクセスが良い、東京に近い、高速バス等都心のアクセスが良い、カーネーション等きれいな花がたくさんある、変わった野菜を育てているので、地域おこしにつながる、野菜がうまい、米がうまい、良い映像が撮れる場所がある | 都会から人が戻らない、昔の考えが強い、粘土地は農家に不利、獣害（イノシシ）、米価が低い、商店街がシャッター街になっている、全体の協力が欠けており個人的である、お金を落とす仕組みがない、ジビエの商品化ができていない、高速バスのステーションがない、紹介・アピールが下手、工法が弱い、プロモーションの改善、Youtube等の動画の共有媒体があるとよい、観光を課金かできていない、高齢化、消防団員の減少、既得権益があるため町全体のPRが難しくなっている |

●具体的な提言

鋸南町の現状に関して、町民から以下の具体的な提言が挙げられた。

・鋸山を中心とした観光地化の推進

ある調査によれば、**鋸山は外国人の目指す観光地のランキングで2位**になっており、知名度は高い。一方で観光地化が推進されているとは言い難い。インバウンド、観光客を狙った宿泊施設やご飯の提供場所等を整備していくべきである。農産物も生かすべき。また昨今は**田植え等のアクティビティ**も求められているので、これを実施する。こうして観光滞在時間の増加を図る。

・田舎と都会にまたがる新しいライフスタイルの提案

東京から近く土地が安いことを生かし、**セミリタイアの人を呼び込む**。あるいは**鋸南在住で外で働くスタイル（デュアルライフ）**を勧める。

・大崩の山の産品を活用したビジネス展開

家族が**大崩のものを活用**し、人を集めながら梅干し、竹細工、クリスマスツリーの飾り付け等を作っている。ビジネス展開も視野に入れている。

・アウトドア活動（スポーツ、バーベキュー）の展開

町でバーベキュークラブが立ち上がっている。バーベキューをしながら宿泊できる施設があれば良いだろう。さらにアウトドアスポーツのできる場所もあれば更に良い。

・その他の提言

その他の提言として、高齢者世代と孫世代の交流の場の設置、ボランティアや移住者の交流のためのサロンの設置、海岸のゴミ拾いイベント（貝等を活用したアート活動）の実施といった事等が挙げられた。

2 地域産業

地域産業に関して、魚と野菜の豊富さ、自然環境の豊かさ等の強みが挙げられた。一方で、PRが苦手であること、空き家の多さ等が弱みとして挙げられた。具体的な提言としては、SNSを生かした町のPR等の実施、空き家所有者に対する働きかけやレクチャーの実施等が述べられた。

●町の強みと弱み

地域産業に関して、町民から以下の強みと弱みが挙げられた。

表2 鋸南町における地域産業の強みと弱み

| good 強み | bad 弱み |
|--|--|
| 人間性が高い、ばんやの集客力、魚・野菜が新鮮で安い、魚が新鮮、魚がうまい、さつまいもがうまい、花（水仙）、都内から近い、アクセスがよい、幼保小のスクールバスが出ていて楽、自然が豊か、自然環境が良い、豊かな大自然、道の駅・保田小の注目度、鋸山の知名度 | ジビエを生かし切れていない、採石場跡地を生かし切れていない、キャンプ場を生かし切れていない、商売が下手、呑み屋がない、プロモーションがうまくない、SNSの発信力が弱い・消費力の高い30～50代の受信力は高いのに…（活かし切れていない）、磯遊び・貝採りの自由化がまだ、海のレジャーの充実化が不十分、農地の有効利用が不十分、特産野菜の開発ができていない、商店街のにぎわいがない、空き家が活用されていない、家・土地を売らない、空き家バンクの登録が少ない、IT化が遅れている、佐久間ダムをちゃんとしたキャンプ場に、インフラが不完全、ハイウェイオアシス富楽里からのアクセスが悪い、タクシーの代行サービスがなくなった、飲食店の閉まる時間が早い、加工製品が少ない |

●具体的な提言

地域産業に関して、町民から以下の具体的な提言が挙げられた。

・SNSを生かした町のPR等の展開

観光資源の多さに比した町の発信力の弱さが課題となっている。そこでSNSを活用した町のPRを展開すべきである。チームでやるのか、個々の生産者等が行うのかも考えていくべき事である。町報でやってくれる人を募集したり、あるいはみんなで発信しましょうと音頭を取るべ

き。またSNSの活用法として、人材を外部から募ってもよいだろう。情報収集などSNSで行っていく。

・ **空き家所有者に対する働きかけやレクチャーの実施**

空き家を放置することでそのままボロボロになってしまい、町の環境も悪くなってしまう。空き家を売り払いたくない人にも「**定期借地権**」といった制度がある等のレクチャーをすべきではないだろうか。

・ **「田舎暮らし東京遊び」——オンラインを生かしたスローライフやコワーケーションの提案**

朝に船に乗って、鯛を釣って、10時からテレワークで働き、夕方には家の人が料理をし、それを酒のつまみで食べる。あるいは朝は夏野菜のトマトをかじって「俺の朝はここからスタートする」といった生活…すなわちこうした「**鋸南ってこんなにイケてるんだぜ**」というライフスタイルを提案したい。「田舎暮らし東京遊び」の場としての鋸南。また近年は「**コワーケーション**」（**コワーキングとバケーションの造語**）が注目されつつある。これはすなわちオンラインを生かして仕事を行いつつ、朝にマリンスポーツを行うようなライフスタイルである。こうしたことを鋸南で行えないか。

・ **その他の提言**

その他の提言として、ジビエの活用（解体所の設置や商品化）、鋸山のトレッキングスポット化といった事等が挙げられた。

3 福祉・医療

福祉・医療に関して、デイサービスの充実、子育て広場の存在、救急病院の存在等の強みが挙げられた。一方で、各種医療・福祉環境・交通網の不備、預かり保育の時間の短さ、皮膚科や眼科等の専門の医院の不在等が弱みとして挙げられた。具体的な提言としては、コミュニティの弱体化に伴う ITを活用した情報共有の推進、高齢者向けのタブレットの配布等が述べられた。

●町の強みと弱み

福祉・医療に関して、町民から以下の強みと弱みが挙げられた。

表3 鋸南町における福祉・医療の強みと弱み

| good 強み | bad 弱み |
|---|--|
| <p>①高齢者に関して</p> <p>デイサービスが充実している、介護サービス、介護予防活動、ケアマネージャーがすぐ来てくれる、広域医療に協力的、介護を頑張っています、元気な高齢者が多く色々なサークルに入って活動している、助け合う、笑楽の湯がある</p> | <p>①高齢者に関して</p> <p>ユニバーサルデザインのものがない、社会的弱者対策がない、言語リハビリ士がいない、買い物や通院の足がない、スーパーがない、移動式スーパーがない、鴨川線のバスが少ない、道路と歩道の整備、災害時の避難、介護タクシーの予約が取れない、老人会が解散しつつある地区がある、集まって話をする場が少ない、いこいの場・コミュニティが少ない、地域ごとに子</p> |

| good 強み | bad 弱み |
|---|--|
| <p>②子どもに関して 子ども広場がある、0歳児を除き保育所の待機がない、子どもの医療費が中3まで無料、給食無償化、風邪で学校に行けない子どもを預かってくれる病院がある</p> <p>③医療に関して 救急病院がある（鋸南病院）、入院施設がある</p> | <p>どもや高齢者が集まれる場所がない、バスと電車のつながりの悪さ</p> <p>②子どもに関して 子どもの預かり保育時間が短い、高校以上のお金がかかる年ごろに手当てがない、子どもの預かり保育時間が短い医療手当が中学までしかない、気軽に子育て相談できる所がない（職員の対応の問題）、通学の手段が電車しかなく不便である、ラジオ体操はどこへ？、子どもが少ないため育成会が成立しない（負担が多い）、子どもが人見知りする、保育サービスの時間が短い、外に働きに行きにくい。働き盛りの移住者が少ない、B&Gセンターで水泳や運動ができるが遠くて行くのが大変、妊婦が移動するときには町のバスだけでは不足、子育て中の親をサポートするサービスが少ない（急な用事で保育サービスが必要でも頼めない）</p> <p>③医療に関して 皮膚科や眼科等の専門病院がない、赤バスなどの本数が少なく止まる場所も少ないのでへき地の方は不便、医師高齢化、病院への付き添いが1日がかかりになる（1人で行けないので）、災害避難所、公園がない、人工透析施設、小児の救急病院がない、介護ボランティアをもう少し増やしたい、移動手段の不足、老人ホームがほしい、介護元気クラブ 公民館でよい、老人用の買い物（タブレット活用）、ICTの充実、鋸南病院の充実、予防接種の指定病院がすくなすぎる・自由に選べない、病院の質、病院が少なすぎてかかるのに心配であり結局他の大きいところに行かなくてはならない、救急車が通れない道がある、大きな手術ができる病院がないため総合病院が必要、病児保育の更なる充実が必要。</p> <p>④コミュニティ 情報がないのでサービスがわからない、フリーWi-Fiを公共施設に！、バスをコンパクトにして本数を増やす、誰にでも伝わる伝え方をしてほしい（簡単な表現で）、SNSで町民同士興味のあるカテゴリーに参加して情報共有、バスと電車がリンクしていない、インターネットで自分が必要とする情報がほしい</p> |

●具体的な提言

福祉・医療に関して、町民から以下の具体的な提言が挙げられた。

・ITを活用した情報共有の推進

インターネットを使ったサービスをもっと充実してほしい。高齢者の買い物や通院のための足、子どもの急な発熱等の時の対応について、ネット上ですぐわかるとよい。また災害時にWi-Fiの必要性が感じられたので、整備してほしい。さらに、SNS上で高齢者と若者がコミュニケーションできる場があれば良い。

・その他の提言

その他の提言として、高齢者向けタブレットの配布、リモート診療、出前サービスや買い物代行といった事等が挙げられた。

4 教育・文化

教育・文化に関して、自然の豊かさ、公民館サークルが盛んであること、クジラ文化の存在等の強みが挙げられた。一方で、津波を想定した高さが無い事（小学校、幼稚園、保育園）、図書館がない事、人口減少で祭りの人手が足りない事等が弱みとして挙げられた。具体的な提言としては、リモート教育やプログラミング教育の推進、町外・県外の人々との交流の推進等が述べられた。

●町の強みと弱み

教育・文化に関して、町民から以下の強みと弱みが挙げられた。

表4 鋸南町における教育・文化の強みと弱み

| good 強み | bad 弱み |
|---|--|
| <p>①幼稚園・学校に関して 施設が近い、富士山キャンプがある、放課後子ども教室がある、子育て広場がある、子どもの医療費が300円、給食費が無料、スクールバスがあるので安心して登校できる、豊かな自然の中で学べる、海・山など良いフィールドが近い、鯨の歴史がある、鯨の食文化、農山漁村文化、味わいのある風土、生涯学習で色んなサークルがある、源頼朝伝説の祭りやイベントがある、祭礼が地域ごとにある、スポーツ大会を町で行っている、地域住民と子どもたちが関わる取り組み（子ども教室）を行っている</p> | <p>①幼稚園・学校に関して 津波を想定した高さが無い（小学校・幼稚園・保育園）、どこに行くにも大人の送り迎えが必要、預かり保育時間が短い、高校になると医療費が高くなる、部活の減少、部活が成立しない（人がいない）、鋸山を生かしてきれていない、小さい子のための水遊び場（噴水のような）がない、公園がない、子供と高齢者のコミュニケーションの場がない、子どもたちが海外の文化などを学ぶ機会がない（ホームステイ、留学を受け入れ）、挨拶をしない習慣、教育が都市を向いている、校外学習が少ないのでは、環境教育に力を入れていない、学習塾が少ない、子どもに農業体験やイノシシ解体等をやらせたほうがいい、ITを上手に使った教育ができていない・知識不足、ICT化が進んでいない、スクールバスが閉鎖的、子どもが減っている、学習塾が減っている、公園が少ない、小中に文化祭や学芸会がない、通学路が草だらけ、国道の</p> |

| good 強み | bad 弱み |
|---|---|
| <p>②生涯学習・スポーツ 公民館サークルが盛ん、人工芝サッカー場がある、B & Gの使用料が安い</p> <p>③文化芸術 クジラ、文化祭の賑わい、鋸山、祭りが盛ん、ミニ映画祭</p> | <p>道幅が狭いため歩かせられない、子どもが少ないことで子供同士の関わりが少なくなっている、少人数制のクラスにしていない、先生と保護者との間に壁があり信頼関係があまり感じられない、中学校の部活がかたより過ぎであり文化部が少ない、スポーツに力を入れすぎ（苦手な子は辛い！）、給食が鋸南産の食材をあまり入れていない（地産地消にしてほしい）、幼稚園の父母の会の役員が女性のみ、PTA会長が男性のみである、子ども会（育成会）や町の活動に参加する家庭が少ない、地域住民の方が積極的に鋸南の子どもたちと関わる意識が低い、鋸南町の歴史に詳しい方から話を聞く機会が少ない</p> <p>②生涯学習・スポーツ 図書館がない、使用料が高い、B & Gの水泳について親の送り迎えがないと厳しい、公共の場にWi-Fiがない</p> <p>③文化芸術 人口減少で祭りの人手が足りない、文化遺産の登録、大人のサークルがほしい（新人が入りにくい）、祭礼を行っていても本来の意味など子どもに伝えられていない、ジビエが生きていない、新たな食文化の構築、イノシシの解体場がほしい</p> |

●具体的な提言

教育・文化に関して、町民から以下の具体的な提言が挙げられた。

・リモート教育やプログラミング教育の推進

町には図書館がないなど、設備の不備が見られるが、こうした中、**リモート教育を整備**することによってこれを補うことができ、**教育格差も縮小する**だろう。またこれと併せて**プログラミング教育**も行ってほしい。

・町外、県外の人々との交流の推進

姉妹都市との交流、林間学校、留学などの国際交流を推進していく。

・子どもたちが笛や太鼓をする環境作り

笛や太鼓は重要な文化であるが子供たちが笛や太鼓の練習をする機会がすごく少なく、機会があっても非常に短期間でやらなければならなくなり、子供たちにも負担になり、親の送り迎えも負担になる。**インターネットを通じて指導してもらう**ことや、あるいは**インターネットで指導者を募る**ことはできないか。

・その他の提言

その他の提言として、姉妹都市との交流、県外学生との交流、外国との交流、ALTの先生の英会話教室、開かれた放課後子ども教室をきっかけにより多くの人にかかわってもらい歴史・文

化を子どもに伝える、源頼朝の氏の歴史を伝える、リモート学習、浮世絵の体験、菱川師宣の文化・展示品紹介、ガイドをする人の養成、放課後子ども教室の周知、挨拶できる子どもを育てるといった事等が挙げられた。

5 防災・防犯・交通・生活環境

防災・防犯・交通・生活環境に関して、それぞれ戸別受信機（防災行政無線）の存在、小学校の防犯カメラの存在、高速バスの存在、海と山の自然の豊かさ等の強みが挙げられた。一方で、それぞれ防災訓練が不十分である事、夜に警察がいない事、交通弱者が増加している事、空き家の増加等が弱みとして挙げられた。具体的な提言としては、自衛隊のレンジャー部隊による防災の指導、防災のIT化の推進等が述べられた。

●町の強みと弱み

防災・防犯・交通・生活環境に関して、町民から以下の強みと弱みが挙げられた。

表5 鋸南町における防災・防犯・交通・生活環境の強みと弱み

| good 強み | bad 弱み |
|---|---|
| <p>①防災に関して 戸別受信機（防災行政無線）、海拔の表示、台風によって多くのボランティアが訪れる、防災メール、地域の組織力が強いので安心、消防団が良い、ご近所さんのつながりがある、協力体制がある、町で一斉の避難訓練がある</p> <p>②防犯に関して 小学校などに防犯カメラがついている、防犯灯の整備、放送での呼びかけ、ほとんどの住民は戸締まりをしないほど安心、事件や犯罪が少ない、近所付き合いがあり犯罪が少ない、知らない人がいるとすぐ分かる</p> <p>③交通に関して 高速バス、高速インターが2つある、高速バスのアクセスが良い、高速インターが近い</p> | <p>①防災に関して 防災訓練が避難だけ、若い人が訓練に出てこない、消防団の訓練が火消しのみ、小学校の津波想定避難場所が遠い、災害時の無線が聞こえず情報が入らない、台風の倒木がそのまま危険、消防団員が少ない、インフラの整備が修理できていない、災害時に詐欺が多発した、昨年の台風情報が伝わらなかった</p> <p>②防犯に関して 夜に警察がいない、草が生い茂り通学路に資格が多い、勝山から大六へ抜ける中学の通学路は人怪我なく草もあり危ない、交番に人がいない、街灯が少ない所が多い、空き家が多い</p> <p>③交通に関して 交通弱者の増加、駅に車を停める場所がなく不便、山側の道に木が生い茂る、タクシーが少ない、バスの本数が少なくて不便、道幅が狭くて危ない（歩道、国道も）、高速バス乗り場がない、電車とバスの乗り継ぎが悪い、信号機が少ない、救急車が入れない道がある、JRの本数が少ない、白線の薄くなった所が多い、町のバスと電車の時刻が合わない、亀田病院行きの日東バスの乗り場に屋根やイスがない、富楽里の近くにバス停がないためバスに乗ってもタクシーに乗ることになる、国道の歩道が草だらけ、道路に危険箇所が多い</p> |

| good 強み | bad 弱み |
|---|--|
| <p>④生活環境に関して ゴミステーション、何よりも自然が豊か、千葉県の中でも知名度が高い、地域の協力体制がほぼ確率できている、海の幸が軍を抜いて美味、関東の中で太陽が海に沈む所は鋸南町以南と神奈川の一部だけ、海・里・山がコンパクトにまとまっている、見知らぬ人にあいさつしても笑顔で返してくれる、美しい海がある、幼小のスクールバスがあり親が楽だと思われる、快適な自然環境、住宅のリフォームに補助金がある、太陽光パネルと合併浄化槽の補助金がある、草刈り・イノシシ・サル等の自然が楽しい</p> | <p>④生活環境に関して 空き家の増加、空き地の雑草、山側は家が建たない、山側の買い物が不便、捨て猫が多い、水道代が高い、ゴミがカラスにやられる、高校など町外に行くしかない（お金もかかる）、賃貸物件がほぼない、戸建て物件もかなり少ない、商店街（勝山、保田）のシャッター通り化、街灯が少ない、海岸線のルールが緩くゴミの不法投棄が多い、ごみゼロ運動に参加するのは高齢者ばかりで若い人の参加が少ない、仕事が少ない、若者がいない、子どもが少なく活気がない、放置竹林・森林・分譲地、公園がない、空き家があるのに貸したがない、空き家が多く町が暗い、耕作放棄地が多い</p> |

●具体的な提言

防災・防犯・交通・生活環境に関して、町民から以下の具体的な提言が挙げられた。

- ・ **自衛隊のレンジャー部隊による防災の指導**

昨年台風が来たが、消防団は土のうの積み上げ方もわからなかった。そこで年に2回来る**自衛隊のレンジャー部隊から防災指導**を行ってもらおう。

- ・ **防災のIT化の推進**

防災のIT化を推進する必要がある。「kintone」というシステムは、避難情報を共有するために便利なシステムなので、取り入れられれば良い。

- ・ **ゴミ拾いのイベント化**

ビーチクリーン運動はあるが山の清掃イベントはない。山の不法投棄の対策として**ごみゼロ運動をイベント化**しバーベキューを振る舞うなどする。

- ・ **その他の提言**

その他の提言として、防犯カメラの存在周知（看板等）で犯罪抑止、富楽里まで循環バスが乗り入れるようにする、町営バスとスクールバスのリンクといった事等が挙げられた。

6 人口減少対策として優先的に取り組むべきこと

人口減少対策として優先的に改善に取り組むべき弱点について、**税収入が減り公共サービスが悪くなる事、空き家の増加に伴う環境の悪化、漁業者がいなくなる事、町の文化水準の低下が懸念される事**等が挙げられた。具体的な提言としては、**インターネットを活用した空き家情報の提供、SNSの発信力を高める事**等が述べられた。

●人口減少対策として優先的に改善に取り組むべき弱点

人口減少対策として優先的に改善に取り組むべき弱点に関して、町民から以下の点が挙げられた。
 （表6参照）

表6 鋸南町が人口減少対策として優先的に改善に取り組むべき弱点

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・自治インフラに関して 税収入が減り公共サービスが悪くなる、交通インフラ消滅、電車・バスなどの交通が不便になる、インフラのキープ、役場職員の減少によりサービス低下 ・コミュニティ防災に関して 空き家が増えて荒れる・街の環境が悪くなる、地域コミュニティの崩壊、地域の活動が困難、消防団員の減少、荒地が増え有害獣が増える、農地の維持が困難に ・地域産業に関して 漁業者がいなくなる、商店の消滅、従業員を募集しても応募がない、町の商業の維持が困難、後継者がいない、観光ビジネスが理解できない、ブランド戦略が不足している、働き手の減少、商品を比べながら買うことができない、買い物場所の減少、 ・教育に関して 町の文化水準低下、教育の劣化、学校の維持が困難、教育に差が出る、教育のIT化が進まないため教育格差が生じる、部活動が限られている、電車・バスの本数が少なくて通学通勤できない ・介護・医療に関して サービスの低下が懸念され老後が心配、病院が減るのが心配（救急時に困る）、介護者がいなくなる（老老介護）、高齢者を支えられない、高齢化率の上昇、医療の衰退、病院の減少、高齢化による通院困難、 ・その他 住民のモチベーションが低い、江戸に行くのは菱川さんの時代から変わらない、発想が古い、就職先がなく収入が少なくなるため生活ができず子育てする余裕もない、インフラが悪化している |
|---|

●具体的な提言

人口減少対策として優先的に改善に取り組むべき弱点に関して、町民から以下の具体的な提言が挙げられた。

- ・「空き家は財産である」——インターネットを活用した空き家情報の提供
 空き家を会社の寮として光熱費以外無料で提供した事例があり、多くの人々を会社に呼び込めたという事例が鋸南町にある。空き家は活用次第で財産になるものなので、SNSやYouTube等を活用してもよいかもしれない。情報発信は必須である。空き家バンクの整備も行う。
- ・SNSの発信力を高める
 今の町にSNSの発信力があるのかは疑問である。「鋸南で楽しんでいる人がたくさんいる」ことを知る人は少ない。SNSによる発信は必須である。
- ・その他の提言（表7参照↓）

表7 その他の提言

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・自治インフラに関して インフラのキープ（現状維持） ・地域産業 もっとICT化を進める、地区組織を活性化、町の可能性を発信する人を見つける、起業しやすいように援助する、役場を中心にビジネスライクに、お客様目線を！、起業者への助成、笑楽の湯の営業時間を変更 ・教育 いっそのこと部活動をなくす、少人数制教育にする、教育の充実、自然環境とIT、外国人による英語の授業を増やす、子どもたちに一人一台タブレットを与えて教育を充実するようにする、保田小でインターナショナルスクールを展開、体験学習を積極的に行う |
|--|

・その他

良い町の発信、SNSやYouTubeの利用、空き家を財産にする、定住の良さを発信、不動産情報の発信、不動産運用の成功事例に学ぶ、福利厚生をしっかりとる、様々な体験ができる、マンパワーの利用、民間力の活用、お試しで住める場所を提供する、一坪農園を都市住民向けに貸し出す、新住民と旧住民の橋渡し、シングルファザーやシングルマザーの移住支援、リモートワークを取り入れた生活

7 中学生ワークショップからの提言

この中学生ワークショップでは「鋸南町を日本人や海外の人にすすめてもらうために、どのように鋸南町をプロデュースしていくか」について鋸南中学校の1年生計38名に考えてもらった。特に①「町の資源は何か?」、②「期待できる効果は?」、③「いかなる方法で?」の三点について、頭を悩ませてもらった。こうした結果、参加した中学生のうち多くが鋸南町の自然（海、鋸山、花等）や食堂（ばんや、住吉飯店等）等を町の美点であると見ている事がわかった。特に彼らはそれらを、インスタグラム等を用いて積極的に映える（『ばえる』、すなわちインスタやその他SNSにおいて目立ち、引き立つ）ように発信していくことを提起している。特に、大人たちの多くがSNS発信の必要性を痛感する中、中学生たちは「SNSを使っていかに発信していくか」までを具体的にイメージできているところが、彼らの優れた点である。

●町の資源と期待できる効果

中学生たちは町の資源と期待できる効果として以下のものを挙げた。（表8参照↓）

表8 中学生が挙げる町の資源

・お店・食事

おいしいお店が多い、おどや、住吉飯店、大吉、幸徳、カフェもじく、商店街が元気、ラーメンや中華料理屋がたくさん、としまや弁当、慶尚苑（焼き肉）、いずみや、ファミリーファーム保田（いちご狩りができる）、美浜（寿司）、きのや（そば）、アジのなめろう、いさばや（ひもの）

・農業

びわ、いちご、保田小で売っている野菜が新鮮、落花生

・漁業、海

さかな、養殖、ウニなどがすぐ獲れる、シーグラス

・観光

笑楽の湯、大仏、中央公民館、道の駅、おいしい店が沢山、寺・神社、ばんや、菱川師宣記念館、見返り美人、佐久間ダム、鋸山（登山、地獄のぞきがスリル満点、景色がきれい!!）、浮島、展望台、紀伊乃国屋、民宿、日本寺、水仙ロード、勝山漁港、ゆうみ、さぎね

・スポーツ

B&G、サンセットブリーズ保田、勝山サッカーフィールド、岩井袋野球場

・行事系

農具市、桜まつり、お祭り、佐久間バーベキュー

・歴史

有名人がたくさん来た、つのがしサザエ、源頼朝、菱川師宣、醍醐新兵衛、なんぼ一くん

・動物

サル、キョン、鳥、イノシシ、とんび、カワセミ、シカ、カモ、猫

・人々

人が優しい、みんな明るい、ルールを守っている、みんな仲が良い、人が優しい、優しいおばあ様達、あいさつをする明るい人々

・自然・景色

星空、紅葉、花、景色、あじさい、菜の花、桜、水仙、富士山がきれい、海・川・森、大黒山、畑、海はきれいで釣りもしやすい、農業、果物、緑が多い、浮島、水田、夜は静かな町、温暖な町、空気が澄んでいる、自然がいっぱいの散歩道、海から見える夕日、富士山、海で泳げる、季節によって見られる植物が違う

●具体的な提言

中学生たちから以下の具体的な提言が挙げられた。

・PRの手段——インスタ、ティックトック、YouTube、その他SNS、動画、ドローン

インスタで鋸南町のきれいな自然（花・山など）をアピールする。きれいな清潔感のある写真を使う。またドローンを使って動画を撮影する。ドローンを使えばよりきれいに見える。写真だけでなく、動画や言葉で鋸南町のいい所を伝える（夕日、菜の花、海…）。ハッシュタグもつける（例、#観光、#おすすめ）。インスタ等を見た若者が来てくれ、さらに来てくれた人が写真をインスタにアップする→またそれを見た人が来る…のループ。イベント周知もSNS等で行う。

・佐久間ダムでキャンプ場

佐久間ダムで花、星空、夕焼け空を見ながらバーベキューができるキャンプ場を作る。設備として、木材テント、ベンチも作る。ツイッター、インスタ、YouTubeの鋸南公式で広める。家族で楽しんだ人が他の人にも広めてくれ、さらなる観光客の増加も期待できる。

・宿泊施設の活用

町には見る場所、食べる場所がたくさんあるので、「ゆうみ」等の宿泊施設を活用し、時間をかけて鋸南町の事を知ってもらいたい。

・家族を対象とした観光誘致の展開

桜まつり、水仙等の花、新鮮な食べ物（魚、野菜、びわやみかん等の果物）、鋸山を活用したウォーキング→ロープウェー→自然の眺めを楽しんでもらう。それらはインスタ映えもするので若者も楽しめる。

・海外の人に来てもらうためのPRや観光パッケージの展開

海外の人に来てもらい、日本の文化を体験してもらおう。そのためにはバスツアーの展開、ポスター作成、ホームページ掲載等を行うべきである。YouTubeに英語に翻訳した「鋸南町の良い所」をアップすれば海外の人にも見てもらえる。映像としては富士山をバックにして浮島の夕日を映したり（穴に夕日が入っている時）、歴史もの、釣りスポット等を映す。

・ YouTubeによる鋸南町観光推進のための動画のアイデア

①まず鋸山から見た海と山の景色、②次に春・夏・秋・冬の植物を見せる、③ウォーキングコースを見せつつ、自然を見せる、④海の中の魚や貝の泳いでいる姿を見せる、⑤「ばんや」の料理をみせる（魚とか）、⑥海と夕日と富士山のきれいな景色をみせる。

・ その他の提言（表9参照↓）

表9 その他の提言

キャンプ場を作り、遊び場も作る、スタンプラリーを作る、子供ランドを作る、イルミネーションをいたるところにやる、鋸山の途中に小さな動物園的なものを作る、保田小の前のプールを駐車場にする。あるいは少し工事して再利用する、鋸山などに休憩所を作る、新聞に魅力を、掲示板を立ててチラシを貼る、車通りの多いところにスポットの看板を作る、高齢者向けにバスの本数を増やす、スポーツの試合の場所を増やす、パンフレットやポスターを作る、インターネットで流行っている・流行らせたいおいしい食べ物を出していく、みんなが見える場所に看板を置く、観光客限定のイベントについてインターネットを使って知らせる、TVで放送（CM）

8 鋸南町総合計画策定懇話会 委員名簿

| 区分 | No. | 氏名 |
|--|-----|--------|
| <p>第1号委員</p> <p>町内に居住又は勤務する 各界各層の有識者</p> | 1 | 蛭田 憲市 |
| | 2 | 紀野 誠 |
| | 3 | 村井 智博 |
| | 4 | 中山 大輔 |
| | 5 | 笹生 さなえ |
| | 6 | 齊藤 瑠美 |
| | 7 | 増田 光俊 |
| | 8 | 小高 友博 |
| | 9 | 吉野 豊 |
| <p>第2号委員</p> <p>住民からの一般公募に よる者</p> | 10 | 相原 信夫 |
| | 11 | 東 愛乃 |

